

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療施設の施設整備の支援			担当部局庁	医政局	作成責任者	
事業開始年度	昭和54年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課救急・周産期医療 等対策室	室長：坂上 祐樹	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	へき地保健医療対策等実施要綱等		
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	へき地医療施設、救急医療施設、周産期医療施設等の施設を整備し、医療提供体制と地域保健及び健康増進体制の連携強化を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	<p>下記の事業等について病院等の建物の整備を行う場合の経費の補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・へき地関係：へき地医療拠点病院、へき地診療所、過疎地域等特定診療所、へき地保健指導所、離島等患者宿泊施設 ・臨床研修関係：研修医のための研修施設、臨床研修病院、研修医環境整備 ・産科：産科医療機関施設整備、分娩取扱施設整備 ・医療計画等の推進に関する事業 ・施設環境等の改善に関する事業 ・医療従事者の養成力の発揮に関する事業 ・病院の耐震整備に関する事業 <p>医療施設等施設整備費補助金 補助率：1/2,1/3 補助対象：都道府県、市町村等、医療法人、社会福祉法人、全国厚生農業協同組合連合会、その他厚生労働大臣が適当と認める者</p> <p>医療提供体制施設整備交付金 補助率：1/2,1/3 補助対象：日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、全国厚生農業協同組合連合会、社会福祉法人北海道社会事業協会、国民健康保険組合、国民健康保険団体連合会、民間事業者</p>						
実施方法	補助						
予算額・ 執行額 (単位：百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	3,351	2,895	12,087	20,186	
		補正予算	20,869	-	18,680		
		前年度から繰越し	11,830	21,223	63	18,175	
		翌年度へ繰越し	▲ 21,223	-	▲ 18,175		
		予備費等	-	▲ 0.5	-		
	計	14,827	24,117.5	12,655	38,361	0	
	執行額	12,659	22,486	12,553			
	執行率 (%)	85%	93%	99%			
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)	52%	777%	41%				
平成29・30年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由			
	医療施設等施設整備費補 助金	17,641	-				
	医療提供体制施設整備交 付金	2,545	-				
	計	20,186	0				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	へき地医療拠点病院数を前年度以上とする。	へき地医療拠点病院数	成果実績	箇所	302	312	集計中	-	-
			目標値	箇所	296	302	312	-	精査中
			達成度	%	102	103.3	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	「へき地医療現況調査」(厚生労働省)								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	救命救急センター数を前年度以上とする。	救命救急センター数	成果実績	箇所	271	279	286	-	-
			目標値	箇所	266	271	279	-	286
			達成度	%	101.9	103	102.5	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	都道府県報告より								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	災害医療拠点病院数を前年度以上とする。	災害医療拠点病院数	成果実績	箇所	694	712	723	-	-
			目標値	箇所	676	694	712	-	723
			達成度	%	102.7	102.6	101.5	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	都道府県報告より								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	周産期母子医療センター数を前年度以上とする。	周産期母子医療センター数	成果実績	箇所	392	405	405	-	-
			目標値	箇所	388	392	405	-	精査中
			達成度	%	101	103.3	100	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	都道府県報告より								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	補助件数	活動実績	件	799	1,282	804	-	-	
		当初見込み	件	140	107	119	804	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	執行額／補助件数	単位当たり コスト	百万円	15.8	17.5	15.6	25.1		
		計算式	執行額／補 助件数		12,639/799	22,486/1,282	12,553/804	20,186/804	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること									
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)									
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
			実績値	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	成果目標のうち、へき地医療拠点病院等が増加することにより、へき地診療所等への代診医等の派遣実施回数が増加し、へき地における住民の医療が確保でき、もって地域において必要な医療を提供できる体制づくりを促進できる。										
	改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	医療施設関係では多くの課題が山積しており、広く国民のニーズがあり、国費を投入すべき。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	都道府県・地域間の医療格差是正の観点から、引き続き国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	医療施設関係では多くの課題が山積しており、へき地医療拠点病院や救命救急センター等の設置という政策目標達成に向けて優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	-
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	受益者も応分の負担があり、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	当該事業に必要な補助基準額の設定を行っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	資金の流れの中間段階は都道府県への間接補助であるため、不合理なものではない。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	補助対象が医療施設等の施設整備費であるために、真に必要なものに限られている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	医療施設等の補助申請件数は毎年度変動が大きいため。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	基本計画に相当の時間を要したことから28年度補正予算で計上したスプリンクラー整備事業と医療施設耐震整備事業の執行額が当該欄に記載されていないため。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	28年度は成果実績については集計中であるが、27年度の成果実績については目標に見合っている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備された設備は十分に活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
		-	-
点検・改善結果	点検結果	医療機関の経営状況や地方自治体の財政状況等の影響を受けず、地域間の格差なく良質な医療を提供することは非常に重要な課題である。救命救急センター数等も年々増えてきていることから、引き続き、国において実施していく必要がある。	
	改善の方向性	自治体から提出された事業報告書にて、事業にかかる効果や執行実態を把握している。整備された施設は十分に活用されていることから、今後も適切な執行に努めて参る。	

外部有識者の所見

--	--

行政事業レビュー推進チームの所見

--	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--	--

備考

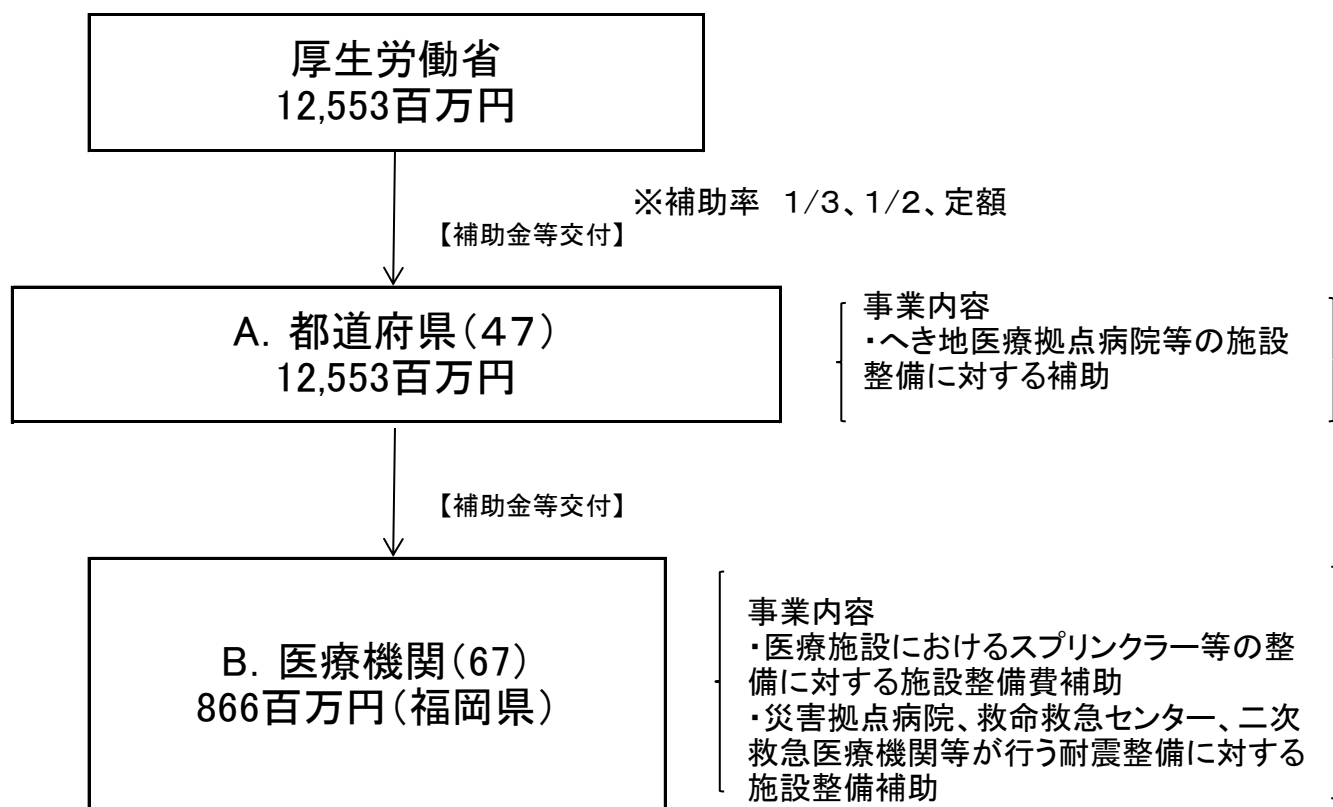
--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	53	平成23年度	45	平成24年度	42		
平成25年度	21	平成26年度	20	平成27年度	18		
平成28年度	18						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位: 百万円)



費目・用途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と用途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.福岡県			B.福岡山田病院		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
補助金	医療機関に対する施設整備に係る補助	866	建設費	建設工事費	48.9
計		866	計		48.9

